

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 株式会社 アバールデータ
 コード番号 6918 URL <http://www.avaldata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(氏名) 嶋村 清
 (氏名) 大関 拓夫

TEL 042-732-1000

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,552	—	4	—	52	—	63	—
20年3月期第1四半期	2,303	△5.6	294	△18.5	317	△18.8	171	△14.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	8.14	8.13
20年3月期第1四半期	21.94	21.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	11,605	9,903	80.0	1,187.78
20年3月期	11,527	9,815	79.7	1,174.04

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 9,284百万円 20年3月期 9,176百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	15.00	—	8.00	23.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	11.00	—	16.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無
 配当金の内訳 21年3月期(予想)の期末配当には記念配当5円を含む。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,370	△26.0	255	△57.7	305	△51.7	200	△44.7	25.59
通期	7,700	△9.0	830	△10.7	920	△7.0	550	△5.6	70.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 8,064,542株 20年3月期 8,064,542株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 248,169株 20年3月期 248,169株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,816,373株 20年3月期第1四半期 7,807,478株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については3ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融・資本市場の混乱や原油をはじめとする原材料価格の高騰の影響を受け、企業収益が減少したことにより、景気の減速傾向は一層強まる中で推移いたしました。

一方、当社グループに関連深い半導体製造装置業界の市況は、半導体メーカーが市場の先行きに対する慎重な見通しから設備投資の抑制をしたため、当初の予想より市況環境や需給環境の回復が遅れており、当社グループを取り巻く事業環境は厳しいものとなりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,552百万円（前年同期比32.6%減）、営業利益は4百万円（前年同期比98.5%減）、経常利益は52百万円（前年同期比83.4%減）、四半期純利益は63百万円（前年同期比62.9%減）となりました。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 受託製品 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御装置部を提供しております。半導体製造装置業界の市況環境や需要環境の回復が遅れたことに影響され、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は559百万円（前年同期比53.2%減）となりました。

② 受託製品 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、分析機器等の特注制御装置の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。FA全般、車輛用機器の需要増に加え、新規顧客開拓が進み、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は286百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

③ 受託製品 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。電力関連機器の機種変更による立ち上がりの遅れにより、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は187百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

④ 自社製品 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。その中で最も売上比率が高い半導体製造装置関連が急激に減速傾向に転じ、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は162百万円（前年同期比42.4%減）となりました。

⑤ 自社製品 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。自社LSIを搭載した新シリーズの発売など製品強化を図りましたが、売上高は微増となりました。

この結果、売上高は145百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

⑥ 自社製品 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズ、FAXサーバー・コールセンター向けCTI（Computer Telephony Integration）及びリモート監視機器を提供しております。その中で「GiGA CHANNEL」シリーズは、半導体製造装置業界の急激な減速傾向により、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は147百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

⑦ 商品 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の組込みモジュール、画像処理モジュール、計測通信機器の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るためのソフトウェア及び付属の周辺機器を提供しております。特定顧客向けの特需により、売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は63百万円（前年同期比202.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から78百万円増加し11,605百万円となりました。流動資産につきましては、主に、現金及び預金が256百万円増加、受取手形及び売掛金が98百万円減少、製品が73百万円減少、原材料が48百万円減少、その他が未収入金の減少等により125百万円減少した結果、72百万円減少となりました。固定資産につきましては、主に、有形固定資産が39百万円減少、投資その他の資産が195百万円増加した結果、150百万円増加となりました。

負債につきましては、主に、支払手形及び買掛金が119百万円減少、賞与引当金及び役員賞与引当金が56百万円減少、その他が繰延税金負債及び預り金等の増加により169百万円増加した結果、8百万円減少となりました。

純資産の部につきましては、主に、その他有価証券評価差額金が106百万円増加、少数株主持分が20百万円減少した結果、前連結会計年度末から87百万円増加し、9,903百万円となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の79.7%から0.3ポイント増加し80.0%となりました。

また、キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上、売上債権、たな卸資産及び未収入金の減少等の増加要因が、仕入債務の減少等の減少要因を上回ったことにより、292百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等といった増加要因が、投資有価証券の取得等といった減少要因を上回ったことにより、43百万円の増加となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュフローは、335百万円の増加であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等の減少要因により、70百万円の減少となりました。

以上、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの結果により、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ、264百万円増加し、2,175百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループに関連の深い半導体製造装置業界は当初の予想より市況環境や需給環境の回復が遅れており予断を許しません。現時点では通期業績予想等につきましては平成20年5月15日の平成20年3月期決算短信で公表いたしました数値からは変更しておりません。

今後、当社グループを取り巻く環境が著しく変化した場合等、業績に影響を及ぼす事態が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会

計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響額はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	(単位：千円) 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,673,455	2,416,509
受取手形及び売掛金	1,209,476	1,307,982
有価証券	10,092	10,082
商品	7,347	7,527
製品	380,352	453,367
原材料	684,874	733,377
仕掛品	501,128	501,431
その他	653,765	779,297
貸倒引当金	—	△16,958
流動資産合計	6,120,493	6,192,617
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,316,699	1,316,699
その他(純額)	1,306,248	1,345,835
有形固定資産合計	2,622,947	2,662,535
無形固定資産	102,801	108,056
投資その他の資産		
投資有価証券	2,662,027	2,485,023
その他	116,127	79,088
貸倒引当金	△18,833	△317
投資その他の資産合計	2,759,320	2,563,794
固定資産合計	5,485,069	5,334,387
資産合計	11,605,562	11,527,004
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	500,717	620,575
未払法人税等	9,792	8,203
賞与引当金	109,653	146,072
役員賞与引当金	3,000	23,198
その他	210,785	114,901
流動負債合計	833,949	912,951
固定負債		

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
退職給付引当金	94,778	98,184
役員退職慰労引当金	81,170	81,220
その他	692,553	618,897
固定負債合計	868,502	798,301
負債合計	1,702,451	1,711,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,459,703	2,459,703
利益剰余金	3,334,683	3,333,617
自己株式	△83,037	△83,037
株主資本合計	8,065,444	8,064,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,218,689	1,112,366
評価・換算差額等合計	1,218,689	1,112,366
少数株主持分	618,977	639,006
純資産合計	9,903,111	9,815,751
負債純資産合計	11,605,562	11,527,004

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,552,059
売上原価	1,120,012
売上総利益	432,046
販売費及び一般管理費	427,620
営業利益	4,426
営業外収益	
受取利息	1,194
受取配当金	43,086
その他	4,500
営業外収益合計	48,781
営業外費用	
為替差損	508
営業外費用合計	508
経常利益	52,699
特別利益	
投資有価証券売却益	40,224
特別利益合計	40,224
特別損失	
固定資産売却損	80
固定資産除却損	54
特別損失合計	135
税金等調整前四半期純利益	92,788
法人税、住民税及び事業税	18,516
法人税等調整額	13,453
法人税等合計	31,969
少数株主損失(△)	△2,778
四半期純利益	63,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	92,788
減価償却費	50,506
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,419
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,198
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,405
受取利息及び受取配当金	△44,280
固定資産除却損	54
固定資産売却損益(△は益)	80
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△40,224
売上債権の増減額(△は増加)	98,505
たな卸資産の増減額(△は増加)	122,528
未収入金の増減額(△は増加)	102,744
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,776
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,590
その他の資産・負債の増減額	52,385
小計	262,829
利息及び配当金の受取額	43,685
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△4,000
定期預金の払戻による収入	12,000
投資有価証券の取得による支出	△99,797
投資有価証券の売却による収入	141,619
有形固定資産の取得による支出	△2,962
無形固定資産の取得による支出	△4,078
その他	512
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△53,229
少数株主への配当金の支払額	△17,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,479
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264,955
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,175,548

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. 販売の状況

当第1四半期連結会計期間における販売実績を品目別に示すと次のとおりであります。

品 目	当四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
	金額(千円)	前期比(%)
受託製品		
半導体製造装置関連	559,524	△53.2
産業用制御機器	286,030	22.1
計測機器	187,202	△14.2
小計	1,032,757	△37.3
自社製品		
組込みモジュール	162,420	△42.4
画像処理モジュール	145,595	1.0
計測通信機器	147,895	△29.0
小計	455,911	△28.1
商品		
自社製品関連商品	63,390	202.1
合計	1,552,059	△32.6

(注)1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売 上 高	2,303,204
II 売 上 原 価	1,529,873
売 上 総 利 益	773,331
III 販売費及び一般管理費	479,019
営 業 利 益	294,312
IV 営 業 外 収 益	
1. 受 取 利 息	1,115
2. 受 取 配 当 金	20,320
3. 有 価 証 券 売 却 益	—
4. 賃 貸 収 入	192
5. そ の 他	1,744
計	23,373
経 常 利 益	317,685
V 特 別 利 益	
1. 貸倒引当金戻入益	—
2. 投資有価証券償還益	—
計	—
VI 特 別 損 失	
1. 固定資産除却損	1,737
2. 固定資産売却損	—
3. 投資有価証券評価損	3,360
計	5,097
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	312,588
税 金 費 用	128,076
少 数 株 主 利 益	13,193
四半期(当期)純利益	171,319